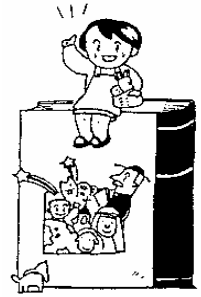


ディボーション質問表



17日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？
その事を誰かに分かち合ってみませんか。

18日(月) ヘブル人への手紙 10:19~39

1. 22~25節に筆者からの勧めの言葉があります。自分の生活に当てはめて考えてみましょう。
2. 26~31節に私たちに対する警告が書かれています。
 - a) 私たちはどのような事に注意を払ったら良いのでしょうか？
 - b) 悔い改めが必要なことはないかどうか自己吟味する時間を持ちましょう。

19日(火) ヘブル人への手紙 11:1~16

1. 信仰を分かりやすい、自己流のことばにすると何だと思えますか？
2. 信仰と報いについて説明して下さい。

20日(水) ヘブル人への手紙 11:17~40

1. 27節を読んで、神があなたとともにいることを想像し、思い巡らしてみましょう。ともにいることを意識して一日を生きてみましょう。
2. 今の現実からどのように信仰を動かせることができるでしょうか？

21日(木) ヘブル人への手紙 12:1~29

1. 自分に対する訓練と十字架を背負われたイエスを対比してみましょう(1~11節)。
2. 神を恐れつつ、神の王国(神の支配)の中に生きられることを感謝しましょう(14~29節)。

22日(金) ヘブル人への手紙 13:1~16

1. 1~6節の私生活へのススメの中で、今日一日できる具体的なステップを考えてみましょう。
2. 7節に出てくる指導者とは11章に出てくる人物たちのことです。彼らは8節の真理を信仰によって握り、地上での生涯を全うするばかりか、永遠のいのちという保障をも手に入れていました。宗教的な行いを強いるような間違った教えに惑わされず、信仰者の指導者に習い、どのように生活すべきだと言っていますか(9~16節)？

23日(土) ヘブル人への手紙 13:17~25

1. 17~18節を読んで、ある人は教わっている立場として自分に適応できることを発見してください。またある人は指導している立場として自分に適応できることを発見してみましょう。
2. 20~21節はヘブル書の結論となる壮麗な祈りです。この著者が読書に伝えたかった真理を黙想してみましょう。